

街頭募金実施にあたっての感染防止対策について（令和4年度）

香川県共同募金会

募金活動における感染防止に関する基本的考え方

新型コロナウイルス感染症は、一般的には飛沫感染、接触感染で感染するといわれています。つきましては、募金活動の際には、飛沫の拡散を防ぐこと、他者との直接接​​触を避​​けることの2点を基本に活動いただきますようご協力をお願いいたします。

(1) 基本的なルール

感染防止の基本は、一人ひとりの基本的感染対策にあります。

については、募金ボランティアの皆さまには、以下の事項をお守りいただきますようお願いいたします。

○健康管理の徹底

- ・ 身体の状態が以下①～③に一点でも当てはまる場合は、当日でも結構です。本会または貴団体責任者に申し出ていただき、活動の参加を控えるようにしてください。
- ・ 体温計測については、本会が用意した非接触型体温計により、事前に検温を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

《チェック項目》

- ① 体温が37.5℃以上の場合（または平熱を1℃以上超える場合）
- ② 咳、倦怠感等風邪の症状がある場合
- ③ 海外渡航歴があり帰国後2週間を経過していない場合

○手洗い・手指消毒の励行

- ・ 活動前、活動中、活動終了後のいずれにおいても石けんでの手洗いまたはアルコール等での手指消毒を徹底されるようご配慮ください。（アルコール消毒液は本会で用意します。）
- ・ 新型コロナウイルスは、目、鼻、口から感染します。活動中は手が顔に触れないように意識してください。

○マスクの着用

- ・ 募金活動中のマスクの着用を徹底するようご配慮ください。（予備のマスクは本会で用意していますので、お持ちでない方は申し出てください

い。)

○対人距離の確保

- ・対人距離の確保は感染防止の重要事項です。しかしながら、共同募金運動は、コミュニケーションを通じて、地域福祉活動の重要性を地域住民の皆さまにご理解いただき、募金協力いただくことを中心に成り立ってきた活動です。
- ・については、感染拡大のリスクをできる限り最小限にしながら、適切なコミュニケーション手段を用いて募金活動が行われるよう、物理的距離（できるだけ2m[最低1m]）をつねに意識した行動をお願いいたします。

○衛生管理

- ・募金箱等をはじめとする共用資材は、募金活動の最中も、こまめな消毒に努めますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

(2) 街頭募金実施にあたっての感染防止対策ガイドライン

ここでは、「(1) 基本的なルール」をふまえたうえで、街頭募金活動を行うにあたって、押さえていただきたいポイントを以下にお示しします。

実際の活動は、ボランティアの皆さまのご理解のもと、現場ごとの判断が優先されますが、その目安としてご確認ください。

- ① 3人1組（募金箱を持つ人、掲示物を持つ人、赤い羽根を手渡す人）での募金活動を基本とします。なお、お子様による活動の場合は、1組につき1～2名の保護者の付き添いをお願いします。
- ② 一か所にボランティアの皆さま、寄付者が密集しないよう、対人距離（できるだけ2m[最低1m]）を保つことのできる場所での活動をお願いいたします。
- ③ 対面状態で大きな声を発することは控えてください。（店舗等活動場所で使用許可が得られた場合は、事前に録音した音源により、募金の呼びかけをしますので、ボランティアの皆さまが大きな声で呼びかけをする必要はありません。）
- ④ 寄付金の収受は募金箱により行い、手渡しは控えるようお願いいたします。
- ⑤ 赤い羽根の配布にあたっては、一枚の羽根に複数の寄付者の手が触れることがないようにご配慮ください。（赤い羽根を手渡す際には、予め役割分担をお願いしたボランティアの方が、専用のトレイに羽根をのせて寄付者へ手渡してください。）